



# B - S T Y L E

VOL.14

Summer season

《 暮らし方のコンセプトメッセージ 》

## Message from harmony-life

Breeze.....四季のうつりかわりを感じる風の音、風の温度、風の道。  
 Breath.....心も体も深呼吸できる健康的な場所、リラクセスの時間。  
 Beauty.....日常の中で触れ、愛おしみ、感性を磨く不変の美。  
 Built-in.....機能性と暮らしやすさを考えたオーダーメイドの設備。

暑中お見舞い申し上げます。  
 あつというまに梅雨が明けて暑い夏がやってきました。そんな暑い夏も人によっては楽しい季節だったり、体がだるくなる嫌な季節だったりと色々ですね。「人生色々」って発言して問題になった人もいましたけど、今の世の中はそんな「色々な人生」を楽しむことすら難しくなってきました。昨今信じられないような少年犯罪や名門企業の不祥事、季節外れの台風直撃やら洪水などんでもない事が立て続けに起きています。  
 数年前から癒しブームが起き、色々な癒しビジネスが生まれましたが、最近ふと思うのは「もう癒しの時代は終わったんじゃないかな？」という事です。「癒される」というのは受動的なことで、誰かに、何かに、自分を癒してもらおうという事が癒される事なんです。世の中がもう末期的になつてきた今、人々の心の中に「もう誰かや何かに頼るんじゃなくて自分自身で何とかしよう！」という考え方が芽生えてきたのではないでしょう



## 暑中お見舞い申し上げます！

最近の物の売れ方や記事を見てみると本物や良いものが普通に売れ始めてきたようです。けっして景況感がよくなったというわけではないのですが、ある経済情報紙によると、自動車では高級セダン・クラウンの売れ行きが絶好調となったり、日産もセドリックの後継車の高価格設定を検討しているといふことです。安売りをするマクドナルドに対してモスバーガーは610円もする高級バーガーが好調でデニーズでもサラダのトップが1皿390円の品だったのが今春発売の農園風サラダ880円がトップに変わったとか。家電でも数十万円もする大型の薄型テレビが日本市場を引っ張るほど売れているし、海外旅行も回復、ホテルも一流の有名ホテルの稼働率が好調など価格破壊という言葉が死語になるのでは？と思うほどの勢いです。一方安売りを得意としていたスーパーや量販店は前年割れのところが多いといふこと。これは蓄えのある富裕層や年収数千万円といった高所得者層の話ではなく普通の人々の中で起きている現象です。じや富裕層といわれる人はどんな消費行動をしているかといえば、例えばローレックスなどの高級ブランド

### 本物・良いものが売れ始めた！

商品を買うのが従来の消費行動でしたが、最近「もっと珍しい、誰も見たことのないデザイン」に人気が集まっているそうです。既に日本では高級ブランド商品を一揃い購入してしまつて、次は自分だけのオリジナルの商品を模索しているといふことです。そして平均的な一般消費者はどうしているかというところ、けして収入が上がったわけではないので、いい物を少しだけ買おう、「高くても本物を買おう」という「大切なお金を有意義に使う」という行動をとり始めています。売り手の方も、いい品をリーズナブルな価格で売り込もう」という流れになり、やっと豊かな時代の本来の流れになつてきたといふことです。

住宅にしてもさすがに坪単価で価値を判断する人は少なくなり、小さくても本物素材で、高がついて自分らしいオンラインワン空間を...という方が増えています。少量のいい物・本物を大切に長く使うこと、大量の安物を短期間で消費する事とどちらが賢いか？どちらが豊かな暮らしなのか？そんな単純な問いかけに日本人がまじめに考えて答えを示し出したのではないのでしょうか？

### 東京通信 VOL.14

【特別番外編】

毎回、ファクションライターくらのろはん氏による東京通信をお届けしていますが、今回は、ろはん氏はお休みさせていただいて『特別番外編』としてハーモニーライフ東京のオープンをご報告します。

七月七日、七夕の夕暮れに東京でオープン記念パーティーを開催しました。「ハーモニーライフ東京」はハーモニーライフの考え方を最も必要としている東京の人々に、ハーモニーライフ流の空間と旅をプロデュースし調和のとれた暮らしを楽しんでいただくことを目的に設立しました。当日は、私たちの応援をしてくださる40名以上の素晴らしい方々がお祝いに駆けつけてくれました。弁護士の方から若いボクサーやヒーラーまで老若男女、職業を超えて色々な人が祝ってくれました。また、癒しの島・奄美大島ファンクラブとして「ハーモニーガーデン AMAMI」というクラブが発足したり、唄者による島の生演奏を楽しんだり、突然、船井幸雄先生からお祝いにと参加者全員にプレゼントが届いたり、素晴らしいスタートとなりました。宮津という小さな街で生まれたハーモニーライフの考え方が大都市東京でハーモニーを奏で広がり始めた一日でした。



両端の二人がキーマンなのでとにかくにぎやかな七夕でした



とりあえずの記念撮影です  
奄美の唄者「マプリ」の二人

